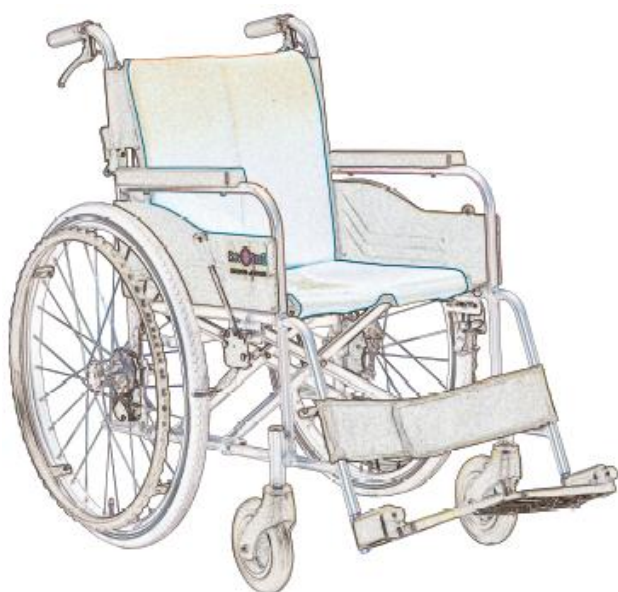


エレボジャパン 株式会社

車いす取扱説明書

(レボスタ 1・レボスタ 7 車椅子対象)



RevoSta1



RevoSta7

※ モデルはイメージ図です。現物とは異なる場合がございます。

取扱説明書対象モデル

レボスタ 1	自走モデル	レボスタ 1	介助モデル
レボスタ 7	自走モデル	レボスタ 7	介助モデル

第 2. 0 2 版 2012 年 2 月製作

L I N X G R O U P

目次

製品を快適にお使いいただくために.....	2
1. このマニュアルについて.....	4
2. このマニュアルでの安全に関する表記.....	4
3. はじめに.....	5
3-1. 梱包されている車いすをご確認下さい.....	5
3-2. 開封してからの組立・取付作業.....	6
3-3. 各部位の説明.....	7
3-4. 各部位の安全確認.....	8-9
4. 使用上のご注意.....	9
4-1. 快適にお使いいただくために.....	10
4-2. 安全にお使いいただくために.....	10-11
4-3. 他の人にお怪我をさせないために.....	12
5. 各部品の使用法.....	13
5-1. パーキングブレーキ.....	13
5-2. 介助者用ブレーキ.....	14
5-3. アームレスト跳ね上げの使用法.....	15
5-4. フットプレートの使用法.....	16
5-5. フットプレート開閉着脱法.....	16-18
5-6. 背折れ部品.....	19
5-7. ティッピングバー.....	20
5-8. 車いすの折りたたみ手順.....	21
6. メンテナンスするその前に.....	24
6-1. お客様ができる調整項目.....	24
6-2. 販売店におまかせする調整項目.....	25
7. 日々のお手入れ.....	25
7-1. お使いの前の点検と毎日のお手入れ.....	25
7-2. 一年ごとのお手入れ.....	25
8. こんなときには.....	26
9. 保証について.....	26
10. ユーザー登録について.....	26
11. 本体仕様.....	27
12. この取扱説明書に関するお問い合わせ先.....	27
13. 修理メンテナンスサービス用基本情報シート（シリアル番号付）.....	28

製品を快適にお使いいただくために

このたびは車いす「レボスタシリーズ」をお買い上げありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただき、快適にすごせるようこのマニュアルが作成されました。
いつもお手元においておき、困ったときに参照ください。
※このマニュアルのメモ欄にお買い上げ店、お買い上げ日、車体番号をメモしていただき
お問合せ時や保証サービスを受けられる際にご利用下さい。

MEMO

お買い上げ店名 :

お買い上げ日 :

車体番号 :

1. このマニュアルについて

対象者・・・ご利用者、介助される方

このマニュアルは車いす「レボスタシリーズ」向けに作成されたものです。

それ以外の製品に関しては、その製品に付属するマニュアルをご覧ください。

2. このマニュアルでの安全に関する表記

安全上の表示として「危険」と「注意」があります。注意してお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、**使用者あるいは周囲の人が死亡あるいは重傷を負う可能性**があることを示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、**人が怪我を負う可能性があります**。
また機器に破損が生じる可能性があることを示しています。

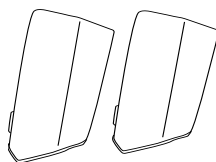
3. はじめに

3-1. 梱包されている車いすをご確認ください

はじめに以下のものが揃っているかご確認ください。



レボスタ 1



背シート・座クッション
(背シートと
座クッションは同形です)



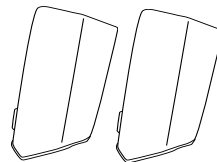
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 本体 | 1 台 |
| 2. 背・座クッション、レッグサポート | 一式 (レッグサポートは本体に取付済) |
| 3. マニュアル | 1 冊(本紙) |
| 4. メンテナンス用スパナ | 2 本 |
| 5. 保証書 | 1 枚 |



レボスタ 7



フットレスト



背シート・座クッション
(背シートと
座クッションは同形です)



- | | |
|---------------------|---------------------|
| 6. 本体 | 1 台 |
| 7. フットレスト | 一式 |
| 8. 背・座クッション、レッグサポート | 一式 (レッグサポートは本体に取付済) |
| 9. マニュアル | 1 冊(本紙) |
| 10. メンテナンス用スパナ | 2 本 |
| 11. 保証書 | 1 枚 |

もしご確認できなかった場合にはお手数ですが、ご購入された販売店までお電話ください。
その際に注文番号、車体番号、お買い上げ日を伺いますのでお手元にご用意ください。

3-2. 開封してからの組立・取付作業

開封されるとレボスタ7はフットプレート（足のせ）と本体が別々になっていますので、車いすを展開してからフットプレートを取り付けます。（写真）

1. 開梱時にフットプレートとレッグレストがあることを確認してください。（7のみ）



2. 介助ハンドル部分を持ち上げてください。
ロックピンが「カチッ」と音がして、完全に固定されているのを確認してください。



3. 座面の両側のパイプを押して車いす全体を広げてください。

パイプがパイプ受けに収まっているかご確認ください（パイプが曲がったり転落事故の原因となります）



4. フットプレートを前方のピンに入れてください。（7のみ）



フットプレートの左右を確認してください。左右逆だと固定されず大変危険です。

5. フットプレートを内側に回転させてください。
その際に「カチッ」と音がします。フットプレートが固定されているか確認してください。（7のみ）



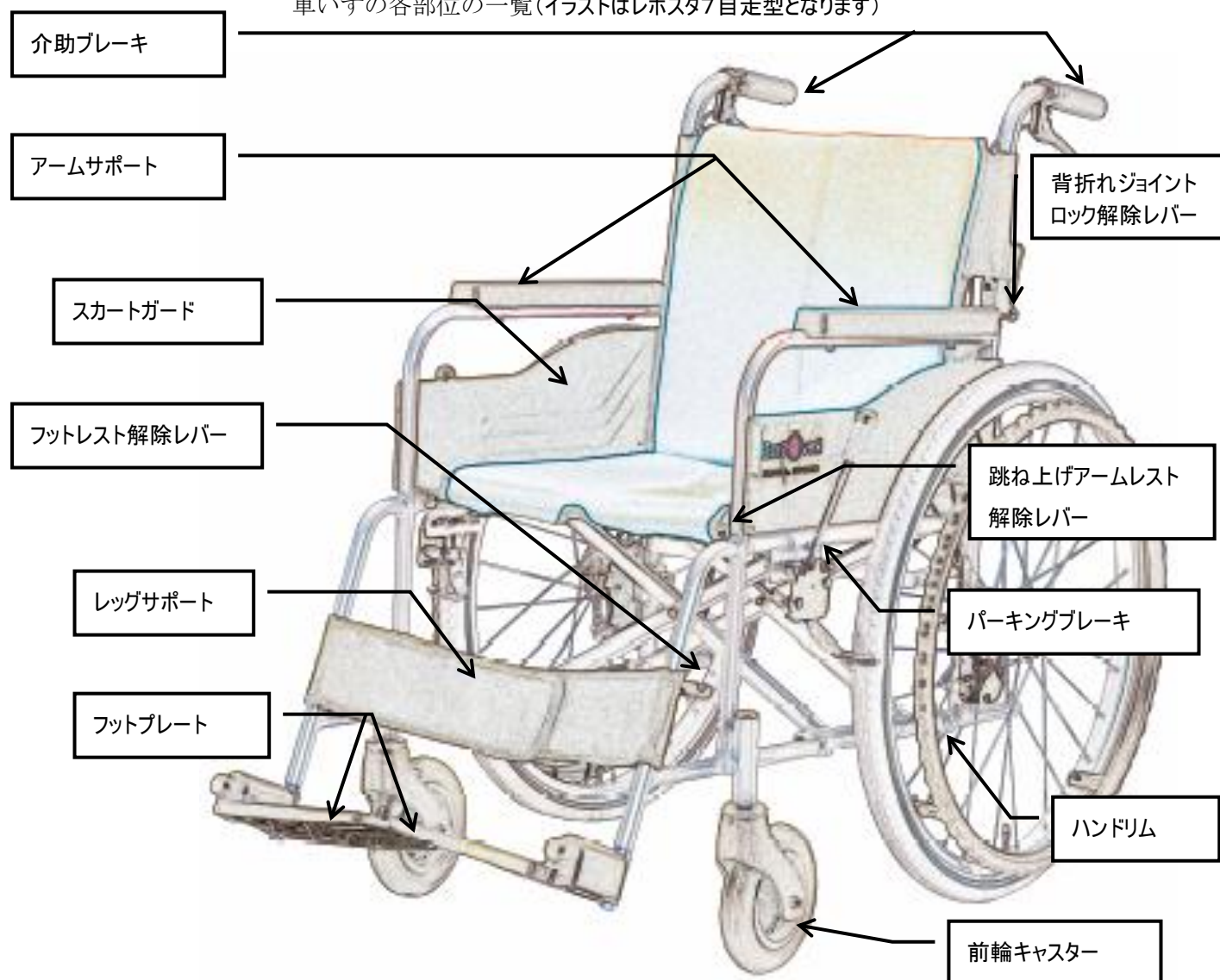
6. レッグレストをマジックテープで張合わせて下さい。
マジックテープに糸くずがついていると粘着性が低下するので取り除いてください。レッグレストが外れ足を怪我するおそれがあります。（7のみ）



以上で組み立ては完成です。次のページで各部位および利用上の注意点を確認し、ブレーキの点検を必ず行ってからご使用ください。

3-3. 各部位の説明

車いすの各部位の一覧(イラストはレボスタ7 自走型となります)

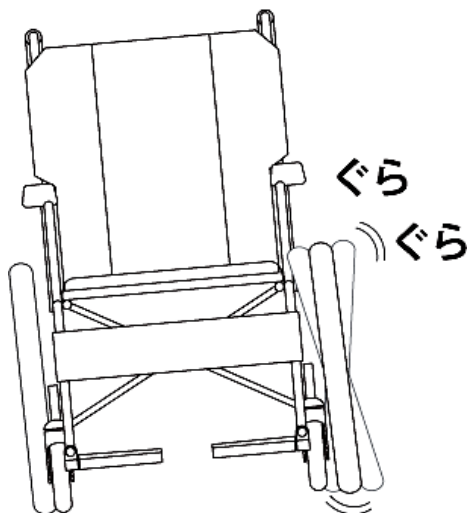


ご注意: 介助型車いすは上記イラストとはタイヤのサイズ、パーキングブレーキの位置が違います。ご了承ください。

3-4. 各部位の安全確認

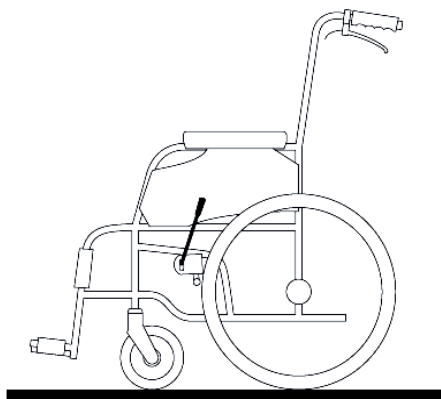
安全な走行をしていただくために各可動部分のご確認を行ってください

3-4-1. 車輪にぐらつきはありませんか？



本体を持ち上げて車輪(前輪・後輪)を軽くまわしてください。車輪がぶれずに回転していますか？

3-4-2. パーキングブレーキはきちんと利いていますか？



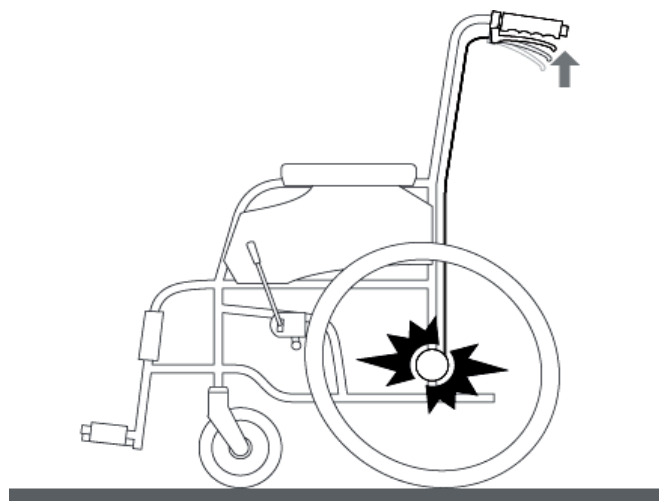
パーキングブレーキレバーを動かしてみてください（後方に引くとロックします。前方に押すとロックが解除されます）。車輪が回っているときはスポークに手や指が差し込まれないよう気をつけてください。

きちんと後輪が止まりますか？車輪が回る場合はブレーキ調整が必要です。

[介助ブレーキ装着車モデルの場合]

1. 介助者用ブレーキ

本体に何も乗せずに平らなところで本体を走らせてください。介助ブレーキハンドルを握るときちゃんと後輪が止まりますか？本体を持ち上げて後輪を軽くまわしてください。ブレーキを動かしてみてください。きちんと後輪が止まりますか？



4. 使用上のご注意

4-1. 快適にお使いいただくために



注意！

1. 車いすにはゴム・潤滑油・樹脂・スポンジなどが使われています。
熱に敏感なゴムや低温では性能を発揮できない潤滑油がありますので、下記の
使用環境下でお使いください

推奨使用環境

摂氏0度以上、45度以下

また直射日光での長期の保存はシートの色落ち、金属部分を触れることによるやけどを引き起こす可能性があります。

2. **スカート、コート、マフラーなどが車輪に巻き込まれる可能性**があります。
ひざの下にしまうか、体に巻き込み、車輪との接触がないことを確認して、お使いください。

4-2. 安全にお使いいただくために



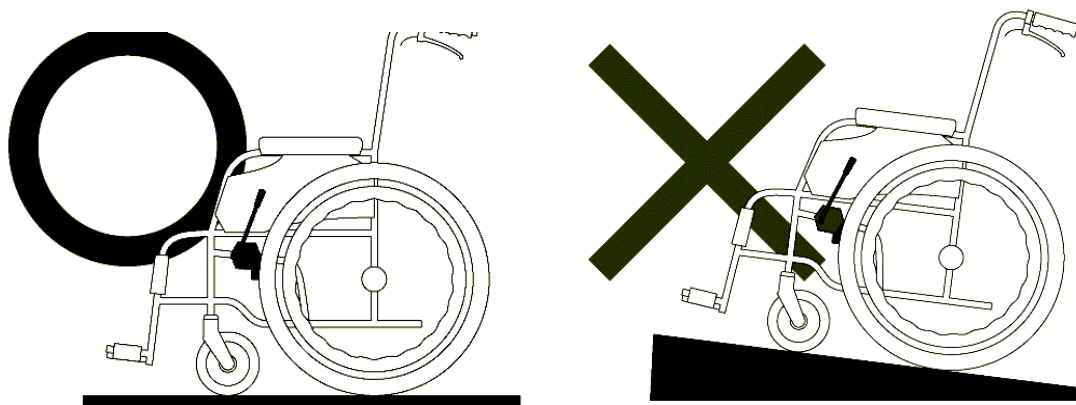
・ご使用者がお怪我しないために

1. お使いになる前には必ず簡易動作チェックを行ってください。
2. 車いすは歩行者扱いとなります。歩道でお使いください。
3. スポーツ走行やウィリーでの事故、破損は保証対象外となります。絶対におやめ下さい。
4. 介助ブレーキやパーキングブレーキをかけたままの無理な走行はおやめください。タイヤが磨耗したり、空気圧が下がったりします。ブレーキの利きが悪くなる場合があります。また前輪が持ち上がり後方に転倒する恐れがあります。
5. 段差を乗り越える(キャリーアップ)動作を行う際は必ずティッピングバーを強く踏み、後輪を支点とし、必ず介助者が操作して車いすの前方をあげてください。
6. タイヤ表記の空気圧であることを確かめてからご使用ください。空気圧が少ない状態で使用するとパーキングブレーキが機能せず、車いすが動いたり、パンクの原因になったりします。また空気の入れすぎは破裂の原因になります。
7. バック走行中に急停止をしないでください。転倒事故の原因となりますので徐々に速度を下げながら停止をしてください。
8. 凹凸のあるところではご利用の方が前かがみにならないように気をつけてあげてください。バランスが崩れ、ご利用者様が前方に転倒する恐れがあります。
9. 火気や温風機器の近くや極端に温度の高い所に置かないでください。タイヤの空気が膨張し破裂したり、火気の近くですとシートが燃える恐れがあります。
10. 段差にてご利用の方が乗ったまま状態で介助者に持ち上げて移動を行う場合、4人～5人で本体パイプ部分（フレーム）を持ち上げて行ってください。RevoSta 7の場合は肘掛が外れますので、肘掛以外のフレーム部分をお持ち下さい。

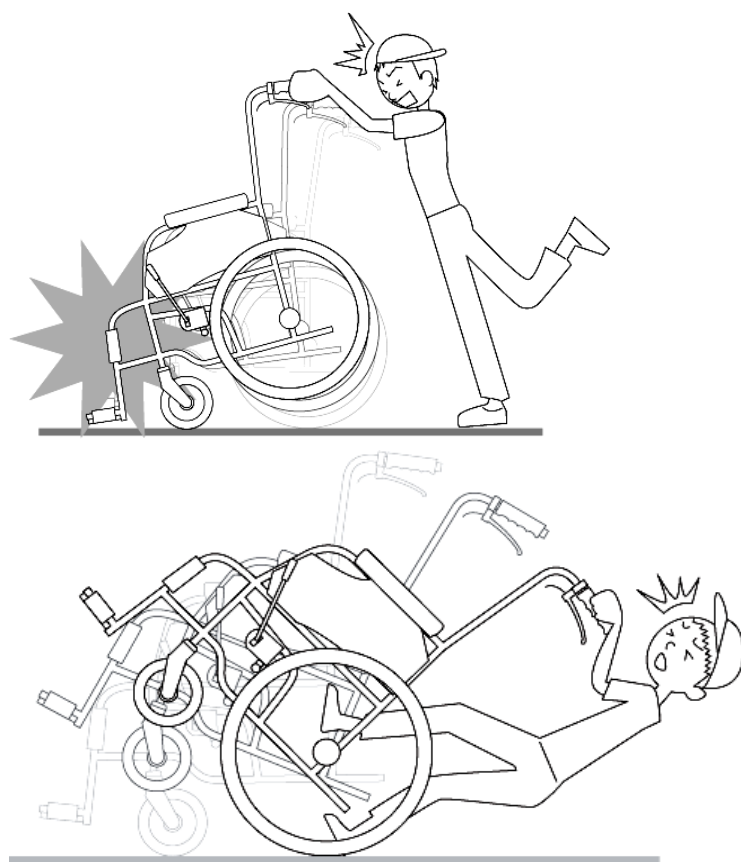
11. 急ブレーキをかけないでください。(車いすに乗られている方が前方に転倒する恐れがあります)
12. 介助者の方は、介助ブレーキを左右同時に、均等の力でかけてください。片方のみ、あるいは片方に極端に強いブレーキをかけますと車いすのバランスが崩れ転倒事故の原因となります。
13. 前輪を上げたままの自力走行は絶対おやめください。バランスを崩して転倒事故の原因となります。悪路等をやむなくキャスターアップ走行する場合は付添い人が必ず介助して行ってください。

4-3. 他の人にお怪我をさせないために

未使用時および停止時には左右のハンドブレーキをかけ、平らな場所に置いてください。



小さなお子様のお近くでは気をつけてお使いください。転倒やスポークに指をはさんだり、怪我をする恐れがあります。



5. 各部位の使用方法

5-1. パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキのかけ方

1. 左右のブレーキレバーをロックするまで後方に引きます。
2. 車いすが動かないことを確認します。

パーキングブレーキ解除の仕方

1. 左右のブレーキレバーを前方に押します。
2. ブレーキ解除を確認します。



解除



ロック

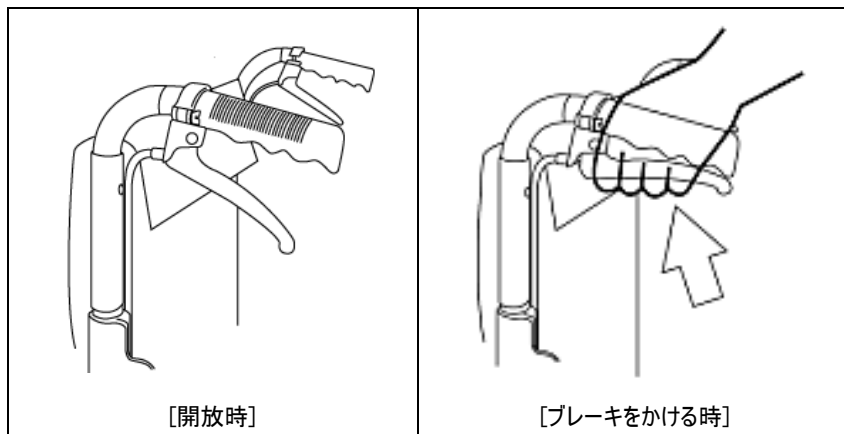
<引き式ブレーキ>



- ・ 車いすに乗る又は降りる前やベッドのなどへの移乗時には必ずパーキングブレーキをロックしてください。車いすが動き、転倒事故の原因となります。
- ・ パーキングブレーキをかける時、解除する時にタイヤとパーキングブレーキの隙間に手を挟まないように注意してください。
- ・ タイヤの空気圧が少ない状態で使用しないでください。ブレーキロックが出来なくなり、車いすが動き、事故の原因となります。

5-2. 介助者用ブレーキ

車いす後部左右についている介助者用のブレーキです。ワイヤー式でグリップを握ることによりワイヤーが引っ張られ、後輪のドラムブレーキがかかります。
また、レバーを離すとブレーキが解除されます。



危険！

走行前に必ずブレーキ点検を行ってください。

⚠ 取扱上の注意

- ・ 介助者の方は、介助ブレーキを左右同時に、均等の力でかけてください。
片方だけの介助ブレーキ操作や、左右の介助ブレーキのかけ具合が極端に違うと車いすのバランスが崩れ転倒事故の原因となります。
- ・ 介助ブレーキグリップおよび介助ブレーキレバーに重いものを引っ掛けないでください。
車いすが不安定になり、転倒する恐れがあります。

5-3.アームレスト跳ね上げの使用方法(レボスタ7)

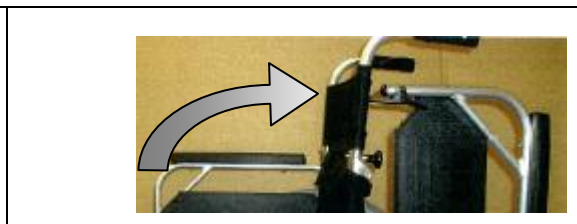
アームレスト跳ね上げの操作方法

「レボスタ7」ではアームレストを跳ね上げることが可能となっています。(図1)
左右両側のアームレストが後方に跳ね上がりますので、横からの移乗がしやすくなります。

通常時



アームレスト跳ね上げ時



使用方法

[上げる時]パーキングブレーキの近くにあるアームレスト解除レバーを押しながら、持ち上げてください

[下げる時]跳ね上げアームレスト解除レバー付近のフレームを掴みながらおろしてください。

跳ね上げアームレスト解除レバーが必ず「カチッ」という音がするまで下げてください。

通常時



アームレスト解除レバーです。

アームレストを跳ね上げる時



注意！

- ・ アームレストを戻す際、衣服等を巻き込まないようにご注意ください。
- ・ アームレストを戻す際はアームレスト固定レバーが「カチッ」という音を確認し、軽く持ち上げて固定されているかを確認してください。

5-4.フットプレートの使用方法(レボスタ 7)

概略

ここではフットプレートの開閉方法を説明いたします。

フットプレートはそれぞれ外側に広げることが出来ます。

フットプレートを外に開く、または取外す事により足元が広くなり、トイレやベッドへの乗り降りがしやすくなります。



【閉じているとき】



【開いているとき】

5-5-1.フットプレート開閉方法

【開脚時】フットプレートの付け根にあるフットプレート解除レバーをパイプ側へ押すことによりロックが外れ、フットプレートの展開が可能になります。

【閉脚時】通常利用時に戻すときにはフットプレート解除レバーがカチッと音がするまでフットプレートを戻してください。閉鎖完了時にはフットプレートがきちんと固定されているかをご確認ください。

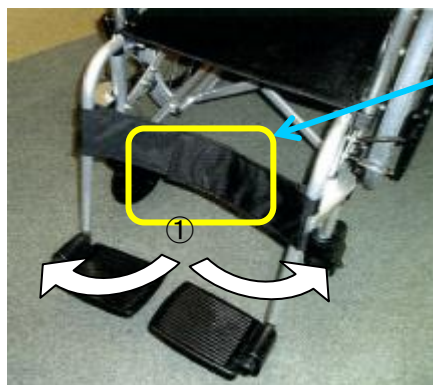


フットプレート解除
レバー



5-5-2.フットプレート着脱方法

フットプレートの取り外し方



① レッグレスト中央部のマジックテープをはずします。



② フットプレート固定レバーをパイプ側へ押し込み
ロックを外します

③ フットプレートを展開します。



④ 十分に開いた上体でフットプレートのみを上へ持ち上げてください。



注意！

フットプレートの取り外し、取り付け時に手をはさまないように気をつけてください。

フットプレートの取り付け方



①本体にはめ込むように上から取り付けます。

②フットプレートを外側に回転させて使用可能な状態にします。

フットプレート解除レバーがカチッと音がするのを確認し、何も挟まっていないか確認してください。



③両方のフットプレートを外側に回転させた後、レッグレストのマジックテープを張り合わせてください。

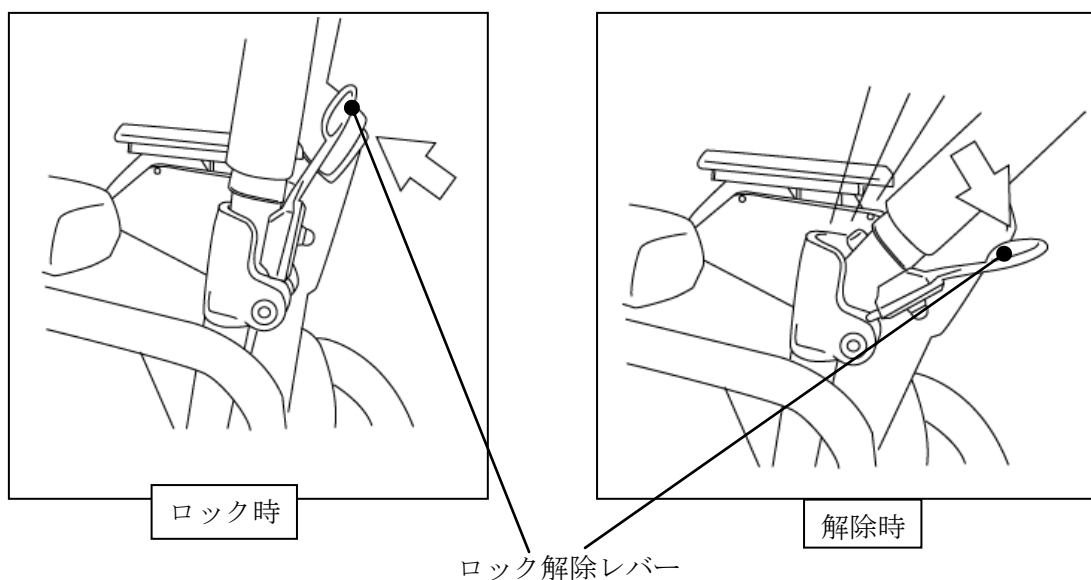


危険！

取り付け後にフットプレートが固定されているかどうか必ず確認してください。足を乗せた時、フットプレートが外れて足を怪我する恐れがあります。

5-6. 背折れ部品

本品は車いすを折りたたむ際に接合部より屈折し、背シートを収納する部品です。
ここでは折り畳み方法を説明します。



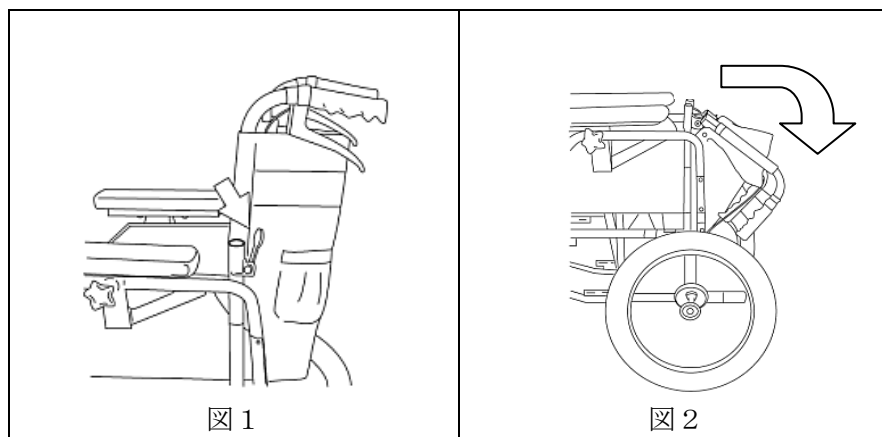
背折れ部品折りたたみ方法

折りたたみ方

1. ロック解除レバーを前方に押してロックを解除します。(下図 1 参照)
2. フレームを接合部より後方に引くようにして折ります。(下図 2 参照)

開き方

1. フレームを前方に押し出すように上げます。
2. カチッと音がするまで確実に押し出します。

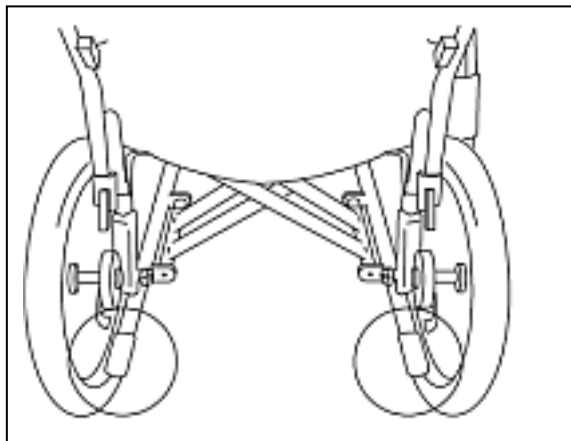


⚠ 取扱上の注意

折りたたむときに部品
に手を挟まない様に気
を付けてください。

5-7. ティッピングバーの使用方法（キャストアップ操作）

段差を乗り越える際には介助者がこのティッピングバーを前に押し出すように踏み込み、押し手グリップを引き寄せるようにして前輪を持ち上げて段差を乗り越えてください。



⚠ 取扱上の注意

介助ブレーキを持った状態で下への過度な力は加えないでください。
ティッピングバーの破損、転倒事故の原因となります。

⚠ 取扱上の注意

ティッピングバーの上に乗ることはおやめください。
転倒事故の原因となります。

5-8.車いすの折りたたみ手順

1. アームレストを図1の固定された状態にします。



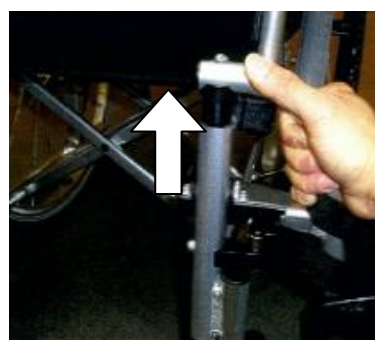
2. レッグサポートのマジックテープを外してください。



3. フットプレートのロックを外し、フットプレートを左右に開いてください。



4. フットプレートを上へ持ち上げて外します



5. 座クッションと背クッションを取り外します



6. 座シートを上を持ち上げて全体を畳みます



7. ロック解除レバーを押し、背折れ部品を折りたたみます



折りたたみ完了図

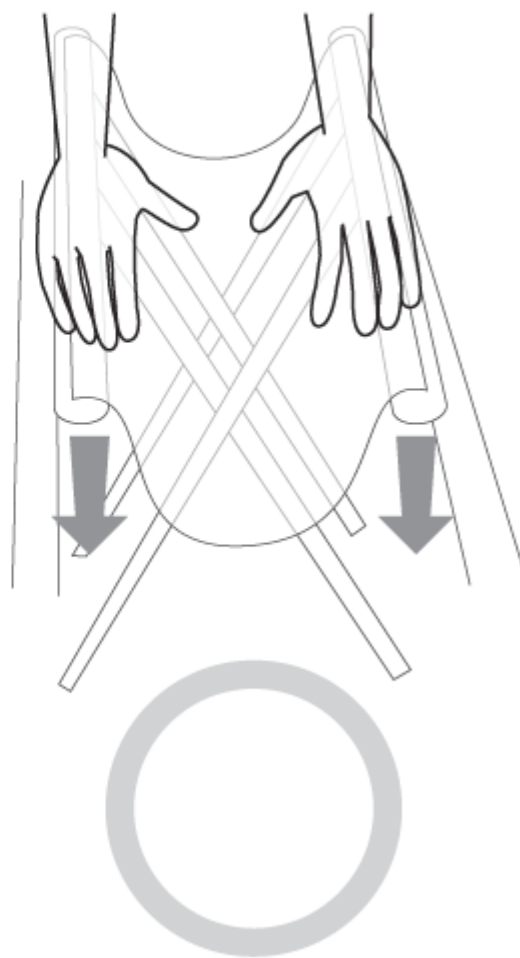
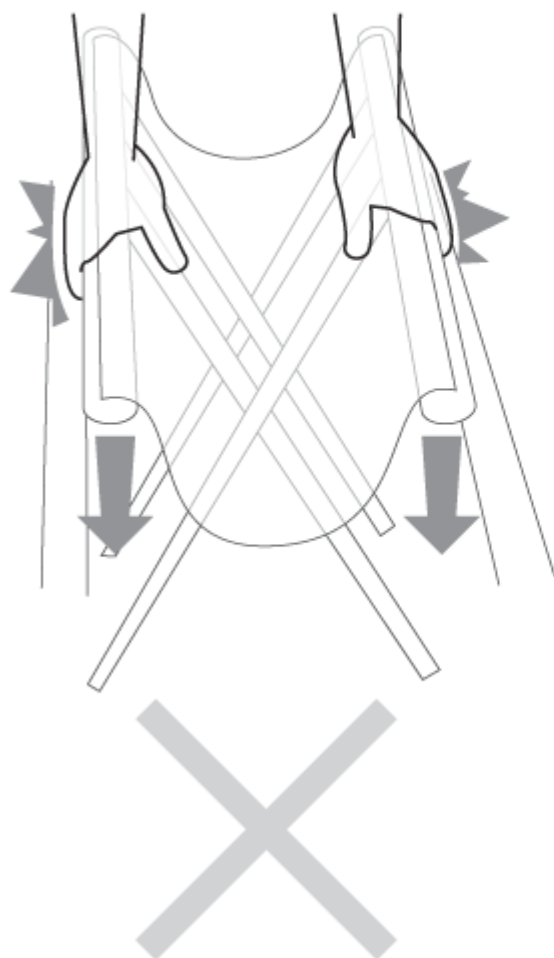




車いすを展開する際の注意：

車いす全体を広げる際は座面のパイプを握らずに座面パイプを押すようにしてください。

パイプとパイプの間に指を挟む恐れがあります。[下図参照]



調整・点検

パーキングブレーキの調整

1. パーキングブレーキとフレームをつないでいるナットを緩めます。(図1)
2. パーキングブレーキをスライドさせて最適な位置に合わせます。(図1)
3. パーキングブレーキをナットを締めて固定させます。
4. 左右同様に調整します。

▲注意

空気圧が低いときやタイヤが磨耗しているときはブレーキのかかり具合も変わります。

▲注意

ブレーキは約5mm程度タイヤに食い込んでロックされる様に調整してください。(数値は目安です)

▲注意

ブレーキをかける時、解除する時にタイヤとブレーキの隙間に手を挟まないように注意してください。

▲注意

ロックした状態で車輪を動かしてみて、回転しないか確認してください。



[図1]

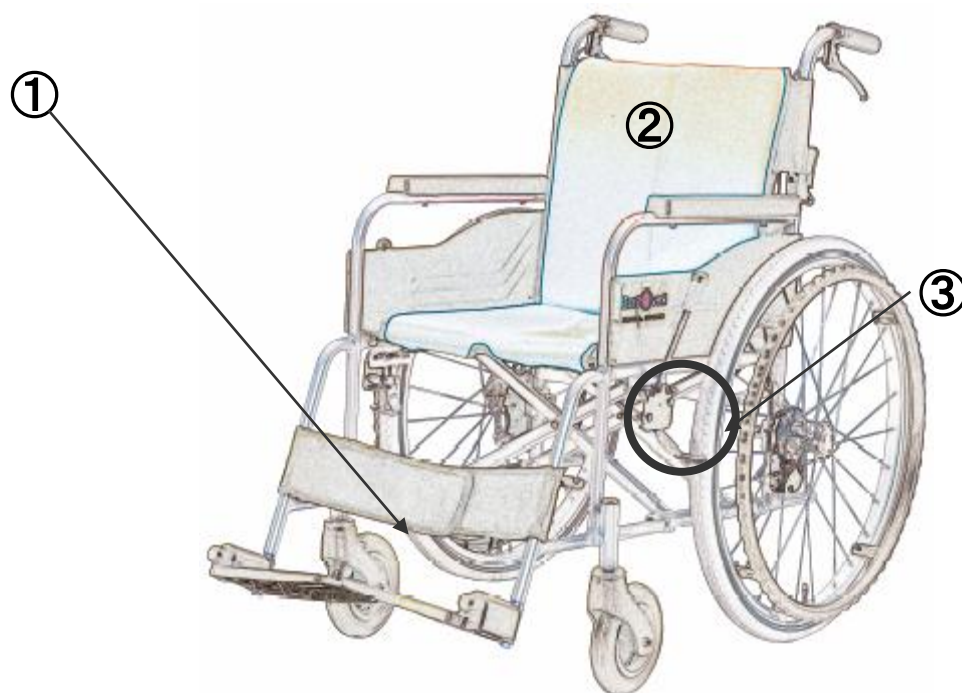
6. メンテナンスするその前に



車いすは機械です。お客様で調整できる部分と専門の取扱店でしか調整できない部分があります。ご自身でおこなうと危険がともなう場合がありますので、下記の項目に注意してできる範囲のみお客様自身で行ってください。それ以外はお買い上げ店またはお取扱店に依頼してください。

6-1. お客様ができる調整項目

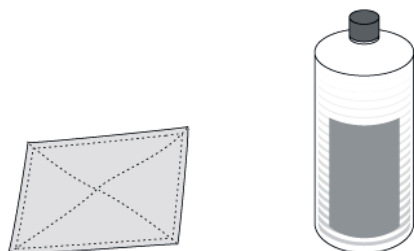
- ① レッグレストベルト調整
- ② クッション取替え
- ③ ブレーキ位置調整（③は販売店への依頼を優先してください）



6-2. 販売店におまかせする調整項目

- ・ キャスター交換
- ・ フットプレートの高さ調整
- ・ 後輪位置調整
- ・ ハンドリムの交換
- ・ タイヤチューブの交換
- ・ その他調整機構以外での分解・交換

7. 日々のお手入れ



7-1. お使いの前の点検と毎日のお手入れ

お手入れ点検項目一覧

- ・ ブレーキ点検
 - ・ タイヤ圧点検
 - ・ タイヤを軽く拭く
 - ・ (雨の日や雪の日)乾いたタオルでボディーを拭く
 - ・ 背シートおよび座シートを中性洗剤につけたタオルを固く絞って拭いてください
- ※シートを水洗いしますとマジックテープの接着力が落ちますので、おやめ下さい。
- ・ ボルト類は水にぬれましたら必ずお拭きください
- ※丸洗いはご遠慮ください

7-2. 一年ごとのお手入れ

一年ご使用されますとタイヤ等の消耗や、調節部分が緩んでくる場合があります。年に一度は車いすの本格的なお手入れをすることをお勧めします。販売店までお問い合わせください。

	ご利用状況に合わせたメンテナンスをお勧めいたします。
注意！	

8. こんなときには

ブレーキの利きが悪い

- タイヤの空気圧が低くなっていませんか？
→ お近くの販売店でタイヤの空気圧を測ってもらってください。
→ 虫ゴムなどのバルブパーツのチェックをして下さい。
- 介助者用ブレーキハンドルのワイヤーがたるんでいる、またはワイヤーが切れていませんか？ワイヤーの動きを確認してください。

タイヤの回りが悪い

- お近くの販売店でまずはお相談下さい。

9. 保証について

販売店の押印された保証書を大切に保管してください。保証書がない場合補償の対象外となりますので、お気をつけ下さい。また、インターネット等でお買い求めになったり寄贈されたりして販売店様が分からない場合などは、弊社宛に保証書をお送りください。弊社にて保証印を押させていただきます。なお本印がない保証書は無効となりますので必ずお送りください。（シリアル番号が無いものは無効です）

※インターネット購入の場合、保守メンテナンスに関してご自身又はご家族の方による手配が難しい場合、あらかじめお近くの福祉機器取扱販売店でのメンテナンスを受けられるか確認することをお勧めします。

10. ユーザー登録について

ユーザー登録に関しまして2012年2月より登録方式を変更し、本体に対して3年間保証をさせていただきます。（登録手続きは不要になりました。）

シリアルナンバー付の保証書を含めた必要書類のご提示で保証が受けることが出来ます。

11. 本体仕様

車名	レボスタ 1	レボスタ 7			レボスタ 1	レボスタ 7
方式	自走				介助	
前輪（インチ）	6					
後輪（インチ）	22				16	
前座高（mm）	440	415	440	465	465	440
後座高（mm）	410	385	410	435	440	415
座幅（mm）	400					
背高（mm）	380	400			380	400
肘高（mm）	220	250			220	250
全高（mm）	865	885			880	890
全幅（mm）	640	600			600	580
全長（mm）	990	1100			980	970
折畳寸法（折幅）	310	330			280	280
折畳寸法（折高）	660	685			680	680
折畳寸法（折長）	980	770			990	680
重量（kg）	13.2	15.0			11.5	13.0

12. この取扱説明書に関するお問い合わせ先

（製造元）

エレボジャパン 株式会社

〒462-0063

愛知県名古屋市北区丸新町 390 番地 リンクスビル

TEL:052-901-8833(代) FAX:052-901-8844 E-mail:info@erevo.jp

【本書は必ず本体付属の取扱説明書、保証書と一緒に保管してください】
修理メンテナンスサービス用基本情報シート(シリアル番号付)

※1：下記情報を記入の上保証書と一緒に保管して下さい。修理依頼時に大変便利です。

※2：販売店への連絡や本体シリアル番号の連絡にも活用いただけます。

※3：シリアル番号で管理され、購入時より3年間保証となります。対象はメインフレームとなります。
消耗品となるタイヤ、チューブ、キャスター、虫ゴム（バルブ内パッキン部分）、シートの磨耗は対象外となります。新車納品運送中のバースト（空気の膨張によるパンク）は未使用で有れば対象となります。

利用者様情報

氏 名

住 所

電 話

シリアル番号貼付欄

販売店情報（販売店印又は店名、住所、連絡先を記入下さい）

お買い上げ日時 年 月 日
（日付入り、商品名入り領収書のコピーの貼り付け可）。

（製造元）

エレボジャパン(株)

〒462-0063

愛知県名古屋市北区丸新町 390 番地

電話 052-901-8833 FAX 052-901-8844